

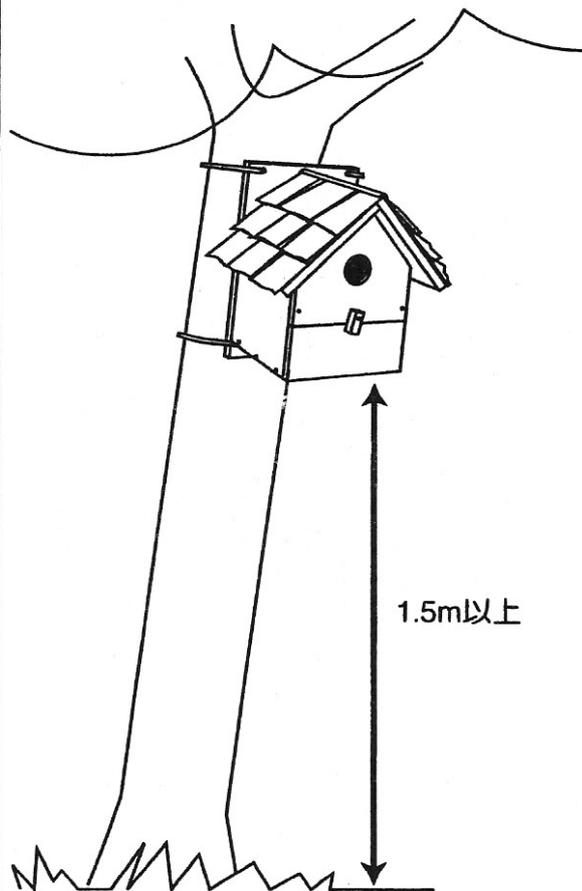
野鳥用巣箱

取り扱い説明書

耳をすませてみてください。

注意深く聞いていると、あなたの身近でも、いろいろな小鳥たちの声が聞こえてきます。チュンチュンと聞き覚えのある『スズメ』の声に混じって、ピーヨピーヨと甲高く鳴いているのは『ヒヨドリ』、ツツピーツツピーとさえずっているのは『シジュウカラ』、ピリピリとうたっている『カワラヒワ』など、いろいろな声が聞こえてくる筈です。緑の少ない住宅地でも私たちが気づかないだけで、いろいろな野鳥たちが暮らしているのです。そして、当然のことながら巣作りをし、卵を産んで子育てを行います。シジュウカラやヤマガラ、ムクドリなどは木のほこらや石垣のすきまなどを利用しますし、ヒヨドリやカワラヒワ、キジバトなどは木の枝の又の小枝や枯れ草で皿型の巣をつくります。ただ、自然の少ない市街地では野鳥たちにとっても住宅難で、とても困っています。巣箱を掛けたり、庭木を巣が掛けやすいように剪定すると、野鳥たちは喜んでこれを利用してしてくれることでしょう。

●バードハウスの取り付け方



1.5m以上

- ◆巣箱は、ヘビが伝ってこないように木の幹や建物の壁などの1.5m以上の高さに、しっかりと取り付けてください。
- ◆少し、前傾するように取り付けると雨水が入りにくくなります。
- ◆巣穴の向きは、家の中からよく見える位置に取り付けると子育ての様子が観察できるでしょう。
- ◆取り付けてすぐには野鳥たちも警戒して利用してくれません。巣作りを行うのは、3月から6月頃なので遅くとも1月頃までには取り付けおいてください。

